

【様式】

実践テーマ「学習到達目標を生徒や保護者と共有するCAN-DOリスト作成に向けて」

和寒町立和寒中学校

第1学年 Unit 4 Friends in New Zealand

**P** [単元の目標]

- ・小学校で学んだ単語や表現を用いて、身近なことについて、簡単なやり取りや紹介をすることができる。  
→話すこと（やり取り）：友だちなどとのやり取りで、対話を継続・発展させるために、相づちなどを用いることができる。

**D** [単元の目標の達成に向けた手立て]

	手立て	資料
①	「簡単なやり取り」とは何かを知るために、トピックを与えて会話させる。	
②	「簡単なやり取り」で使ったストラテジーを知るために、会話を録画（録音）する。	
③	小学校で学んだ単語や表現を使うために、色々なトピックで会話させる。	

**C** [単元の目標の達成状況]

- ・ほとんどの生徒が、相づち（相手の繰り返し含む）や追加の質問（What ~?）を用いて45秒間会話を続けることができた。
- ・教師が予想していない切り返しをする（Who ~?）生徒がいた。
- ・会話練習をたくさんすることにより、英作文が書けるようになったという生徒がいた。

**A** [改善の方向性]

- ・対話を継続・発展させる相づちや2文で答える等のストラテジーを定着させるため、各単元でCAN-DOリストを基に、言語材料を更に生かす工夫をしたり、目的・場面・状況等を踏まえた言語活動を継続的に行ったりする。

【参考様式】

## 単元の目標の達成に向けた手立ての具体

① 「簡単なやり取り」とは何かを知るために、トピックを与えて会話させる。

〔児童（生徒）の活動〕	〔教師の指導〕	〔工夫点〕
○“Do you like sports?”で会話する。 ① Yes, I do. で沈黙する ② Me, too. まで続く ③ OK, OK. などと言って終了	○どんな会話できたかを尋ねる。 ① 相づちができた ② 時間が足りない(進まなくて) ③ うまく会話した気がしない	○JETとALTによる会話のモデルを見せないことで、「できない(できなくなっている)」ことに気づかせる。
○もう一度“Do you like sports?”で会話する。 ① Yes, I do. → 1文加える ② 相づちのバリエーション ③ 追加の質問(単元の言語材料)	○JETとALTの会話モデルを示す。 ① Yes, I do. → 具体的に伝える。 ② 繰り返しも効果的 ③ What oo do you like? What’s your favorite oo?	○会話モデルを示した後に、ペアを変えてもう一度トライさせる。

【参考様式】

## 単元の目標の達成に向けた手立ての具体

② 「簡単なやり取り」で使ったストラテジーを知るために、会話を録画（録音）する。

### 〔児童（生徒）の活動〕

○スクリーンに示されるトピックについて会話する。（40秒）

- ① あらかじめ順番を決める
- ② 折り返しに“How about you?”を用いる

### 〔教師の指導〕

○タブレットで録画の準備をさせる。

- ① 順番が決まったら、ストラテジー（相づち・追加の質問）を確認する
- ② スクリーンに注目させる

### 〔工夫点〕

○生徒にとって身近で、具体的な例を思い浮かべやすいものをトピックにする。

- ① sports ○  
→baseball, soccer...  
→team, player...
- ② animal ×  
→cats, dogs...  
→??

#### NH1 Unit 4 Friends in New Zealand 6/8

目標：流れをつかんで会話してみよう！②

1. Word Domino / 一般動詞を定着させよう
2. / あいづち・追加の質問  
-タブレットで撮影しよう（ロイロノート）

3. Reading Practice S2

-New Words / ペア音読 / 内容把握プリント 問5～7

\* 次回単語テスト④実施

#### NH1 Unit 4 Friends in New Zealand 6/8

目標：流れをつかんで会話してみよう！②

1. Word Domino / 一般動詞を定着させよう
2. Do you like movies? / あいづち・追加の質問  
-タブレットで撮影しよう（ロイロノート）

3. Reading Practice S2

-New Words / ペア音読 / 内容把握プリント 問5～7

\* 次回単語テスト④実施

【参考様式】

## 単元の目標の達成に向けた手立ての具体

③ 小学校で学んだ単語や表現を使うために、色々なトピックで会話させる。

### 〔児童（生徒）の活動〕

○パフォーマンステストでは、それまでに練習した複数のトピック＋1（初めてのもの）から選んで即興で会話する。

- ① 緊張で、ルールを忘れる
- ② できるだけ自分の英語でJETとのやり取りを録画（録音）する。

### 〔教師の指導〕

○言いよどんだり、言葉に詰まったりする生徒に対しては、教師が質問したり、教師の意見や考えを伝えたりしながらやり取りを継続させる。（生徒をヘルプする。）

- ① キー質問の最初を言う “Do...”
- ② What’s your favorite character?  
I like .... How about you?

### 〔工夫点〕

○その日の最初の活動で分けたグループをもとにして、色々な人と組ませる。

○生徒がグループ編成に違和感を持たないように、自然なグルーピングから、ペア活動に移行できるようにする。  
（能力差にできるだけ配慮）

○評価の妥当性を高めるため、JETとのやり取りの他に別室でALTともやり取りを行う。（2名体制での評価）

